

学校だより 10月号

令和8年9月30日



横浜市立義務教育学校

緑園学園

RYOKUEN COMPULSORY EDUCATION SCHOOL

横浜市泉区緑園五丁目28番地 前期課程 ☎045(811)6710 後期課程 ☎045(811)6030

学びがつくる「表現」の力 ～子どもたちの成長を映す学びの結晶～

校長 土谷 満

秋らしい涼しさを感じる頃となりました。一方で、先日の台風をはじめ、今年度は各地で自然災害による甚大な被害が報告されています。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復旧・復興を願っております。

さて、校内を歩くと、教室や廊下には子どもたちの多様な学びの成果が数多く掲示されています。

前期課程では、夏休みの思い出をまとめた絵日記や、試行錯誤を重ねて仕上げた書写、お薦めの本の紹介、韓国の子どもたちとの交流の記録、詩、新聞など、子どもたちの日々の学びや成長が感じられる作品が並んでいます。図画工作科の学習においても、1年生の「せんのぼうけん」、5年生の「糸のこスイスイ」、6年生の「くるくるクランク」など、それぞれの発達段階に応じた創意工夫あふれる作品が展示されており、子どもたちの豊かな発想や学びへの意欲に感心させられます。

後期課程では、職業講話の事後学習として「キャリア・ビジョン・カード」を作成し、将来の自分の姿を思い描きながら学びを深めています。先日は、本校の独自教科である「表現・未来デザイン科」の第1回講座が開催されました。また、職員玄関を彩る華道部の皆さんの生け花も、本校ならではの豊かな表現活動の一つとして、来校される方々の心を和ませています。10月の文化祭に向けて、校内には合唱練習の歌声が響き始めました。

さらに、前期課程・後期課程いずれも「総合的な学習の時間」や「のびしろ Time」において、各クラスの子どもたちの発想や個人の主体性を大切にしたい学びが進められており、日頃の授業や探究活動の成果をまとめた記録からは、子どもたちの学びの軌跡をうかがうことができます。

このように、本校には子どもたちの豊かな学びを支える教育活動があふれています。校内の作品や学習の記録には、一人ひとりの日々の学びの積み重ねが息づいています。

現代の社会では、SNS等を介した発信が容易になり、多くの人の目を引く表現に注目が集まる傾向があります。そうした表現には、人と人とを結び付け、新たなつながりを生み出す価値も認められます。しかし、教育が大切にしているのは、一時的な注目や華やかさではありません。子どもたちが時間をかけて学びを積み重ね、その成果を自らの言葉や作品、行動として表現できる力を育むことにこそ大きな意味があります。校内に見られる一つ一つの作品や発表は、そうした学びの結晶そのものです。授業で深く考えたこと。仲間との対話を通して新たな視点に気付いたこと。何度も試行錯誤を重ね切磋琢磨し、その一つ一つの経験が子どもたちの力となり、やがて自分らしい表現へと結実していきます。

そして、その学びを表現する大きな機会の一つが、10月に開催する文化祭です。

互いの学びや成長を認め合う大切な教育活動として、本番に向けた取組も本格化しています。本番に向けて練習を重ねる子どもたちの姿からは、仲間と力を合わせながらよりよいものを創り上げようとする意欲が伝わってきます。

文化祭では、ぜひ当日の発表をご覧いただくとともに、一つ一つの作品や発表の背景にある努力や成長にも目を向けていただければと思います。

実りの秋を迎え、表現の向こう側にある子どもたちの学びに思いを寄せていただければ幸いです。